

「太田いそ研究奨励賞を受賞して」

高槻集団給食研究会 松村 祐佳

この度は、第16回大阪府栄養士会研究発表会において発表しました「高槻集団給食研究会における摂食・嚥下に関する食事形態等の情報共有に向けて」に対しまして、太田いそ研究奨励賞をいただき、誠にありがとうございます。

高槻集団給食研究会では、介護保険関連施設給食部会と病院給食部会で嚥下食標準化検討会を立ち上げ、約2年にわたり施設間における摂食・嚥下に関する情報共有について取り組んでまいりました。

検討会の立ち上げ当初は、情報を共有する形式や方向性が定まりませんでした。回を重ねるごとに必要な情報が明確になり、当会独自の基準を設けた一覧表を完成することができました。

さて、私は検討会2年目にあたる平成23年度から研究会の役員となりましたが、検討会を開催するにあたり、細かい打ち合わせや調整が行われていたことを知り、施設や病院の食事に携わる参加者それぞれが、より良い食事を提供

したいという熱い想いを持っていることを実感しました。また、各施設や病院を行き来される利用者及び患者に関する食事の情報は非常に大切で、その情報を共有することにより、利用者や患者のQOL向上につながるという認識が参加者に広まっていくのを感じました。

約2年で10回にわたる検討会が開催されましたが、参加者の皆様の協力があったからこそ、一覧表を完成することができたものと感謝の気持ちでいっぱいです。

今後は、一覧表の活用や嚥下食ピラミッド等既存の基準との関連づけなどを継続して検討していくという課題もあります。今回得ることができた他施設や他職種との連携を生かし、意見交換や情報共有に努めながら、様々な研究に取り組んでまいりたいと思います。

最後になりましたが、ご協力いただきました関係者の皆様とご推薦いただきました座長の先生に深く御礼申し上げます。

『太田いそ研究奨励賞を受賞して』

大阪府立大学総合リハビリテーション学部 矢澤 彩香

この度は「太田いそ研究奨励賞」を賜り、誠にありがとうございました。授賞式の際には、太田いそ先生の功績を改めてお聞きし、身の引き締まる思いがいたしました。「太田いそ研究奨励賞」を受賞させていただいた者として恥ずかしくないよう、今後も精進して参りたいと思います。

今回発表しました「健康教室における仲間作りに焦点をあてたアプローチ」では、生活習慣の改善を目的とした健康教室において、仲間作りに焦点をあてた介入方法を検討・考察しました。仲間作りに焦点をあてた理由は、教室で出来た仲間との交流頻度が高い者では、教室終了後もよりよい生活習慣が続いている傾向が見られた、という過去の研究結果があったためです。本研究では、仲間作りをしやすい環境を作るために、まず参加者の性格特性を考慮してグループを作成しました。グループワークでは一人一枚ずつ色紙を持ってもらい、その色紙に自分の目標を記載してもらおうとともに、グループメン

バーの前で目標達成への決意や実行状況を発表してもらいました。その後、発表に対し色紙に励ましメッセージを書いてもらう、という作業を行ってもらいました。結果、教室終了時には、体重・体脂肪率の改善や食事の仕方の改善がみられ、多くの参加者が自分の目標を達成することができました。参加者からは「色紙のメッセージが励みになった」「教室で仲間ができ援助が感じられた」「目標達成において仲間の援助が感じられた」といった意見が得られました。

現在、全国各地で健康教室が開催されていますが、教室終了時に良好な結果を得ても、その後も効果を持続させることは困難であることが多いと言われます。今回の参加者の教室終了後の継続状況については、長期的に検討していきたいと考えております。

最後になりましたが、研究にご協力いただいた関係者の皆様、ご推薦いただきました座長の奥田豊子先生に深くお礼申し上げます。

『太田いそ研究奨励賞を受賞して』

市立豊中病院 栄養管理部 那須 美恵

(現 豊中市役所 健康福祉部 福祉指導監査室)

この度は、栄えある太田いそ研究奨励賞をいただき大変光栄に思っております。ありがとうございました。

今回「インスリン自己免疫症候群患者の低血糖発作の予防に対してコーンスターチ療法を試みた1例」について取り組むきっかけとなったのは、医師から栄養管理部に「低血糖発作の予防にコーンスターチを使いたいので準備して欲しい」という連絡があったことからでした。正直それまでは低血糖の予防にコーンスターチが使われていることさえ知りませんでした。コーンスターチは一度に50gを非加熱で摂取する必要があり、今回の症例では紅茶等の飲料に混ぜて摂取していただきました。また、糖尿病でインスリン療法や経口糖尿病薬の内服をしている場合以外で低血糖が起こることについてあまり認識がありませんでした。そんなスタートでしたが分からないことは調べたり、医師に教えていただいたりしながら発表にこぎつけることができました。コーンスターチがきっかけで、今

まであまり関わりのなかった分野について理解を深めることができうれしく思います。

病院ではチーム医療の普及に伴い栄養士が新しい分野に参画するようになりました。医師をはじめ多くの職種の方々と共にお仕事をする機会が年々増加し、新しい知識を得る機会が増えとても刺激になりました。これからも栄養士が活躍できる場が増えていくことを期待します。

私は大学卒業後豊中市に就職し、豊中病院に配属され14年間勤務してまいりましたが、本年4月に豊中市役所の福祉指導監査室に異動になり、全く新しい仕事に就くことになりました。まだ分からないことだらけで苦戦しておりますが、今まで病院で身に着けた知識や経験を生かして頑張っていきたいと思っております。

最後になりましたが、今回の研究発表にあたりご指導、ご協力いただきました関係者の皆様、ご推薦いただきました座長の先生に改めまして御礼申し上げます。